

令和7年度 昭和村立昭和小学校 学力向上グランドデザイン

★学校経営・運営ビジョンとの関連：重点目標

「学ぶ楽しさを味わう子ども」「基礎・基本を身につけた子ども」「家庭学習に取り組む子ども」

教育目標

昭和村を愛し、たくましく生きる児童の育成

<児童の実態・学力の状況>

- N R T 学力検査の全学年偏差値平均（R 7.1 月実施）
国語 算数
オーバーアチーパー 7 人
アンダーアチーパー 2 人

めざす子ども像

知：学び合う子ども
徳：高め合う子ども
体：きたえ合う子ども

共同研究 研究主題

自ら考え、学び合い、分かった・できたを実感する子どもの育成（1年次）

<児童の実態・学習習慣>

- 学校評価アンケートから
A と B 評価の児童（R6, 12 月）
・授業が楽しみ 100 %
・話し合いの仕方 88 %
・家庭学習 96 %
・読書習慣 69 %
- 素直で、指示されたことに真面目に取り組む。自主的に家庭学習に取り組む児童もいるが、個人差がある。体験活動などを通して、自己肯定感を高めていくことが必要である。

	「わかる・できる」授業の確立	学びのサイクルの確立	学びの土台作り
P L A N	○現職教育計画 ○授業スタンダードの活用 ○ICT 機器使用に関する研修の実施	①「チャレンジタイム」の実施 ②「家庭学習のスタンダード」「家庭学習の手引き」の活用	①温かな学級風土の確立 ②読書習慣の定着 ③学習規律の確立 ④小中連携の推進
D O	○一人ひとりに応じた指導の充実 ○学び合い伝え合う（話し合い）活動の充実 ・自らの考えを持たせる工夫 ・自らの考えを表現させる工夫 ・教師のコーディネート工夫 ○授業研究会の実施 ○ICT の活用	①「チャレンジタイム」の活用 ・漢字・計算の練習とテスト ・活用力育成シート ②適切な宿題の提示と授業等での活用 ・自主学習の取り組み例の提示 ・「家庭学習カード」の工夫	①道徳教育の充実（思いやり・規範意識の育成） ○特別活動等での相互理解の深化、自己肯定感の育成 ○QU アンケートの実施 ②朝の読書タイムの実施 ○「家読」との関連 ○読書カードの活用 ○意欲を高める図書委員会活動 ③「学習のきまり」の活用 ④年間指導計画への位置づけ
C H E C K	◇週案での振り返り ◇学校評価アンケート ◇諸テストの結果分析（単元テスト、全国学調、ふくしま学力調査、N R T） ◇授業研究会・互見授業での授業記録 ◇授業研究会・互見授業の成果と課題についての話し合い ◇ICT 活用の振り返り（年度末に反省）	②毎日の宿題・自主学習チェック、提出の確認、未提出理由の分析と対応 ・学校評価アンケート	①道徳ワークシート、学校評価アンケート ・QU アンケート結果の分析 ②読書状況の確認、学級だよりでの啓蒙、読書カードの記入状況の確認、購入図書の紹介、学校評価アンケート ③学校評価アンケート
A C T I O N	・単元テストごとに、個に応じた支援を具体的に検討し、実践する。 ・児童の学習状況や課題を把握し、次の目標や手立てを明確にする。 ・授業研究会等で協議により課題を明確にし、授業改善に生かす。 ・振り返りを生かした研修を実施する。 ・振り返りを基にしたICT 推進の新たな取り組み	①漢字・計算テストの結果を表彰し、保護者に周知する。 ・授業での補充、授業改善への活用 ②自主学習のよい取り組みを称賛し、掲示する。 ・未提出者への対応、家庭協力依頼	①課題を踏まえての道徳、学級活動、係・委員会活動等の見直し ②実施状況により、称賛、個別の支援、本の紹介（読み聞かせ）などの開催 ③状況により、全体及び個別に称賛と指導 ④中学校へのスムーズな接続についての工夫改善